

令和7年度 北海道退職校長会

支 部 代 表 者 会



令和7年10月21日(火)13:00~16:00

ホテル ライフォート札幌

会 場 2FライフォートI
司会進行 大向副理事長 *

1. 開 会 13:00 (受付: 12:30~)

2. 会長あいさつ 佐藤会長

3. 報告・協議 13:05

(1) 事業の執行状況及び今後の計画

① 事務局 ・ 事務局業務 鈴木理事長

・ 会計中間報告・次年度の支部活動費等 羽川事務理事

② 各 部 ・ 組織部 業務進捗状況 栗原組織部長

・ 広報部 業務進捗状況 岩田広報部長

・ 情報部 業務進捗状況 駒形情報部長

(2) 「北海道教育の日」道民運動推進協議会の取組 川島副理事長

(4) その他 大向副理事長

..... 《 休 憩 》

4. 支 部 交 流 14:10~15:40 (90分)

① 道東 北見・網走 地域懇談会報告

② 会務運営検討委員会状況報告

③ 支部交流 ・支部の状況を交流

・今後の支部代表者会の在り方について

・今後の会務運営全般について

・慶弔規定等について

※研修講話はなし。

5. 連 絡 事務局

6. 会長あいさつ 佐藤会長

7. 閉 会 ~ 16:00

1. 諸会議一覧・今後の予定

R7 4月	4	金	年度末監査
	8	火	事務局会⑦
	15	火	拡大事務局 60 周年実行⑥ 会報 248 発行
	22	火	会報 248 号発行
	24	木	教育の日 事務局会①
5月	13	火	60 周年 実行委員会⑦
	20	火	61 定期総会 60 周年式典祝賀会
	22	木	教育の日 第 1 回幹事会
	27	火	事務局会①
6月	5	木	全連退 理事会
	6	金	全連退 総 会
	17	火	拡大事務局会①
	24	火	教育の日総会
7月	1	火	第 1 回理事会
8月	5	火	事務局会②
	29	金	会報 249 号発行
9月	2	火	拡大事務局会②
	18	木	教育の日第 2 回幹事会
	20	土	地域懇談会「道東オホーツク(北見)」
	30	火	事務局会③
10月	3	金	中間監査
	7	火	全連退 60 周年記念式典祝賀会
	21	火	役員会・支部代表者会
11月	4	火	北海道教育の日 制定記念行事
	25	火	事務局会④
12月	9	火	拡大事務局会③
	10	水	会報 250 号発行
R81 月			
2月	17	火	事務局会⑤
3月	3	火	拡大事務局会④
	13	金	第 2 回理事会
4月	3	金	年度末監査
	14	火	拡大事務局会⑤
	15	水	会報 251 号発行
5月	27	水	62 定期総会

2. 主な業務執行状況(5月～10月予定)

- (1) 第61回 定期総会・懇親会 令和7年5月20日(火) ホテルライフオート札幌(13:00～)
 - ・参加数65名 (来賓3名)
 - ・事業計画及び予算案、総会宣言決議、役員改選など協議され承認された。
- (2) 創立60周年記念式典 期日・会場：同上 (15:30～)
 - ・参加数69名 (来賓16名)
 - ・祝 辞 北海道教育委員会教育部長 猪口 浩司 様
札幌市教育委員会学校教育部長 佐藤 圭一 様
 - ・スライド「60年のあゆみ」、永年会員への感謝状贈呈など滞りなく執り行われた。
- (3) 創立60周年祝賀会 期日・会場：同上 (16:45～)
 - ・参加数56名 (来賓11名)
 - ・全国連合退職校長会会長 田中 昭光 様よ「お祝いの言葉」および、3名の方にスピーチをいただいて和やかに親睦を深めることができた。
- (4) 第1回理事会 令和7年7月1日(月) ホテルライフオート札幌(レガート 13:30～)
 - ・参加数16名。令和7年度事務局及び各部の事業計画など承認された。
- (5) 第1回会務運営検討委員会 理事会と同日同会場
 - ・理事会終了後に同会場で開催した。
 - ・各地区の実情を踏まえ、会務を厳選して持続可能な運営を求めていることを確認した。
- (3) 道東 北見・網走地区 地域懇談会 令和7年9月20日(土)「北網圏北見文化センター」
 - ・地域施設見学 北見市立中央図書館
 - ・懇親会 オホーツクビアファクトリー
- (4) 支部代表者会・役員会 令和7年10月21日(火)13:00～(ホテル ライフオート札幌)
 - ・報告、協議
 - ・支部交流 (道東北見網走地域懇談会報告、今後の会務運営について)

3. 関係団体との連携

- (1) 「北海道教育の日」道民運動推進協議会(事務局=退職校長会事務所)
《28 構成団体、5 協賛団体》
 - 「北海道教育の日」総会 令和6年6月24日(火) ホテルライフオート札幌
 - ・参加数 名、事業計画、予算案など承認された。
 - ・議 長 : 北広島西高等学校長 伊勢 一哉 氏
 - ・講 演 : 「特別支援教育の現状と充実に向けて」
講 師 : 北海道教育庁学校教育局特別支援教育課長 中嶋 英樹 氏
 - 「北海道教育の日」第18回制定記念行事
 - ・令和7年11月4日(火) 15:00～17:00 ホテルライフオート札幌
 - ・テーマ(継続) 「あなたはだれのために、何ができますか？」
～子どもたちに「共に歩もうとする力」を～
 - ・記念講演 : 「夢と共に歩む」
講 師 : 北海道星置養護学校長 浅井 謙作 氏
車いすラグビー選手 池崎 大輔 氏
- ※講演は録画し、後日 YouTube 配信の予定
- ・「北海道教育の日」実践資料集 第19集の発行(2月上旬 600部)

(2) 北海道教育委員会教育長との懇談会 …日本教育会北海道支部と開催について検討中

4. 全国連合退職校長会 (全連退との連携)

○理事会 (6月5日) 佐藤会長

○総会 (6月6日) 佐藤会長(北海道地区代表)

○副会長会 (7月31日, 8月1日)(3月4,5日) 佐藤会長

- ・各省庁への要請活動(教育の現状、退職後の現状など)
- ・文科省との懇談会
- ・全連退だより、全連退情報

5. 情報発信

○ 事務理事担当⇒ HP (<https://htko500.wixsite.com/jimu>) で本会の情報を発信

.....

◇◇ 会務運営検討委員会の検討の前提として ◇◇

- ・会員減に伴う会費収入減少…予算の逼迫⇒ 一番の苦勞→「支部活動推進費 600 円」の維持
- ・H21 年まで…→各支部から会員数×3000 円⇒ 本部会費
- ⇒各支部の声「会員減で、支部会費を値上げしなければ・・・」
- ⇒会務運営検討委員会………… 部会費 3000 円/人から「支部活動推進費」650 円を予算措置
(「還付」として支部活動に活用)

※この「支部活動推進費」は、会員減が進み本部予算が逼迫した時に、650 円から徐々に減額することにより、本部会費の値上げを回避するということが、総会で承認されてはいる。

- ・平成 29 年度には、650 円の支部活動費を 600 円に減額せざるを得ず現在に至る～600 円の支部活動推進費は、減額することなく現在まで続いている。しかし 600 円を維持するのは年々極めて難しくなる

⇒事務理事の退職金積立の廃止

⇒会報発行回数…年 6 回→ 4 回→ 3 回, 紙質を少し落とす ・現在年間 3 回発行

⇒理事会, 事務局会等の会議回数減, 役員数の減

⇒主な会議の開催数削減の取組

※ 理事会は平成 25 年度までは 3 回→26 年度 2 回に削減→今後は書面と参集に

※ 事務局会:H25 までは 11 回→H26:10 回→ R1 9 回→…→6 年度 7 回に削減

・R6→ 総会 (1) 理事会 (2) 事務局会 (7) 拡大事務局会 (6) 支部代表者会 (1)

R7→ 総会 (1) 理事会 (2) 事務局会 (5) 拡大事務局会 (5) 支部代表者会 (1)

※ 副会長は平成 8 年度までは 8 名→ 9 年度 7 名→ 29 年度 6 名に減員。

※ 理事は平成 28 年度 20 名→令和 6 年度現在 14 名に減員。

・現在:会長 (1) 副会長 (6) 理事長 (1) 副理事長 (2) 事務理事 (1) 理事 (14)

(平成 26 年度は 36 名 ⇒ 令和 5 年度は 28 名 監事込み)

- ・様々な経費削減の努力で、今年度の60周年記念事業を成功させることができた。しかし、数年前から続けている、積立金取り崩しが可能なのはあと数年で、持続可能な予算編成のためには抜本的な策が必要となる。

⇒今後計上することが難しくなる項目

- ・「会員名簿（本編）5年ごと」作成積立金
- ・周年記念事業に向けての積立金
- ・事務所移転に係る積立金（数年後にはどうしても避けられなくなると思われる）
（現在事務所を置かせてもらっているあやめ野小学校が統合により廃校予定）

~~~~~

◎ 第1回会務検討委員会での委員からの率直な思いや支部の意向など

- ・どこの支部及び本部も状況は同じで、会の存続にも関わる事態となっている。
- ・コロナ後は、会のメリットを広く伝えて会員を増やしたいが、定年の延長とその後も仕事をする方が普通となっており、以前の状況とは明らかに違ってきている。
- ・全連退、全道とのつながりは貴重であり、なんとか続けたい。
- ・たとえ全国全道と離れることがあっても、地域としては解散のつもりは毛頭なく、支部の組織は守って続けたい。
- ・本部会費が高いということが独り歩きしている感があるが、実は多く戻ってきていることをきちんと伝えていきたい。
- ・支部でも役員をやると苦勞がよくわかる。何とか若い人たちに役員をやってほしい。
- ・一般会員としては、道や全連退とのつながりが見えにくい。
- ・諸活動の削減を検討することになると思うが、会報は生命線である。
- ・この委員会の前提として、会を存続させる手立てを探る会としたい。

~~~~~

会務検討委員会では、今後、諸会議の持ち方、会員名簿の在り方、事務所の設置場所、周年行事、役員数等などについて、大胆な見直しを図っていく。

支部活動推進費 600 円を何とか確保し、会費値上げを回避することに精いっぱい努力をしているのが実情であることを何とかご理解いただきたい。

《検討中の案》

会報…………… 少ない経費で内容を維持する。用紙種類、ページ数、配送方法

地域懇談会…… 年間2～3回にして、支部と本部の情報交流を深める

↑支部代表者会・ 廃止

↑役員会………… 廃止

理事会…………… 原稿2回のうち1回を書面開催に

※「香典・供花」の廃止（東北以北の各県で行っているのは北海道だけ～全国でもほとんどないと思われる）

1 収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	摘 要
1. 繰 越 金	1,321,778	1,321,778	0	前年度繰越金
2. 会 費				
①正 会 員	6,000,000	4,426,500	△ 1,573,500	3,000 × 1,656 名
②準 会 員	97,500	42,000	△ 55,500	1,500 × 65 名
3. 助 成 金	280,000	230,000	△ 50,000	全連退 60,000 教育公務員弘済会180,000円
4. 繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	特別積立会計から(予備費の補填)
5. 雑 収 入	138,200	76,454	△ 61,746	預金利息, カタログ封入手数料、謝
合 計	8,837,478	7,096,732	△ 1,740,746	

2 支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	摘 要
1. 負 担 金	852,500	653,000	△ 199,500	全連退会費、「北海道教育の日」拠出金等
2. 推 進 費	1,233,000	872,000	△ 361,000	支部活動推進費@600、準会員対策推進費@500
3. 会 議 費	469,000	251,872	△ 217,128	定期総会、支部代表者会、理事会、事務局会、拡大事務局会等
4. 事業費				
①組織部費	79,300	28,000	△ 51,300	会員名簿作成費、部会業務旅費、部活動費等
②広報部費	589,000	363,532	△ 225,468	会報印刷、部会業務旅費、部活動費等
③情報部費	30,000	17,000	△ 13,000	部会業務旅費、部活動費等
④推進事業費	130,000	130,000	0	「北海道教育の日」道民運動推進事業諸経費
5. 事務局費				
①人 件 費	1,573,700	802,936	△ 770,764	事務理事給与、社会保険料、事務補助費等
②通信・交通費	261,800	90,723	△ 171,077	郵便為替払込料、電話料、通信費等
③事務局活動費	0	0	0	事務局活動費
③印 刷 費	70,000	67,540	△ 2,460	封筒、会報用原稿用紙等
④備品消耗品費	284,800	130,069	△ 154,731	コピー機・複合機のリース・使用料、用紙、事務用品等
⑤渉 外 費	180,000	114,500	△ 65,500	関係団体渉外費、祝儀、謝礼、広告料等
6. 通 信 費	746,200	583,237	△ 162,963	会報等の発送料、会報配付手数料、郵券等
7. 旅 費	1,243,600	516,400	△ 727,200	総会、支部代表者会、理事会、全連退、地域懇談会等
8. 慶 弔 費	755,000	554,000	△ 201,000	上寿・米寿記念品、香典料・供花料等
9. 繰 出 金	0	0	0	
10. 雑 費	116,000	103,680	△ 12,320	北海道通信購読料、職員録
11. 予 備 費	223,578	0	△ 223,578	特別積立会計からの繰入金1,000,000を含む
合 計	8,837,478	5,278,489	△ 3,558,989	

3 収支合計の部

収 入 合 計 額	支 出 合 計 額	差 引 残 額	摘 要
7,096,732	5,278,489	1,818,243	

令和7年度 特別積立会計中間報告

1 収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	摘 要
1. 繰 越 金	7,325,902	7,325,902	0	前年度繰越金
2. 繰 入 金	0	0	0	
3. 雑 収 入	132	3,599	3,467	預金利息
合 計	7,326,034	7,329,501	3,467	

2 支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	摘 要
1. 繰 出 金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計予算に繰り出し
2. 支 出 金	2,300,000	1,221,010	△ 1,078,990	60周年各部諸経費,記念誌編集費・印刷費・送料
合 計	3,300,000	2,221,010	△ 1,078,990	

3 収支合計の部

収 入 合 計 額	支 出 合 計 額	差 引 残 額	摘 要
7,329,501	2,221,010	5,108,491	

令和7年度 北海道退職校長会

中間監査報告

令和7年10月3日、北海道退職校長会事務室において、令和7年度4月から9月末までの一般会計、及び特別積立会計の収入支出に伴う関係書類、及び関係帳簿・証票等を詳細に監査した結果、いずれも正確かつ適正であることをみとめましたので、ここに報告いたします。

令和7年10月3日

監事

佐藤 恵三 

監事

加藤 優二 

監事

小林 隆 

1 収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減	摘 要
1. 繰 入 金	2,500,000	2,500,000	0	50周年残金80万+年20万×4+年18万×5=250万
2. 雑 収 入	0	0	0	
合 計	2,500,000	2,500,000	0	

2 支出の部

項 目		予 算 額	決 算 額	増 △ 減	摘 要
1・事業費	① 記念式典費	70,000	32,000	△ 38,000	会場費、一文字表示、盛花、 録音、写真等
	② 祝賀会費	150,000	95,840	△ 54,160	一文字表示、招待者会費、記録編集用機器等
	③ 表彰費	100,000	64,056	△ 35,944	賞状・封筒印刷、氏名筆耕料等
	④ 記念誌費	1,100,000	1,023,430	△ 76,570	印刷費、送料、編集通信費等
	⑤ 部活動費	80,000	36,809	△ 43,191	各部諸経費(消耗品等)
2・事務費	① 旅費	200,000	8,000	△ 192,000	会議費
	② 通信・交通費	100,000	34,300	△ 65,700	案内状・礼状、記念誌寄贈等郵送費
	③ 印刷費	170,000	30,800	△ 139,200	案内状、式典・祝賀会葉、式典・祝賀会封筒等印刷
	④ 事務消耗品費	100,000	0	△ 100,000	用紙、インク、事務用品、名札ケース等
	⑤ 渉外費	70,000	10,000	△ 60,000	関係団体渉外費、祝儀、謝礼等
3. 雑 費		80,000	0	△ 80,000	記録写真、スライド作成等
4. 予 備 費		280,000	0	△ 280,000	
合 計		2,500,000	1,335,235	△ 1,164,765	

3 収支合計の部

収 入 合 計 額	支 出 合 計 額	差 引 残 額	摘要
2,500,000	1,335,235	1,164,765	

※残額は「特別積立会計」に。

北海道退職校長会

創立60周年記念行事 会計監査報告

令和7年10月3日、北海道退職校長会事務室において、令和6年4月から令和7年9月末までの、「創立60周年記念行事」に係る会計の収入支出に伴う関係書類、及び関係帳簿・証票等を詳細に監査した結果、いずれも正確かつ適正であることをみとめましたので、ここに報告いたします。

令和7年10月3日

監事

佐藤 恵三 

監事

石藤 隆一 

監事

小林 隆 

令和7年度 組織部業務進捗状況

1. 報告事項

(1) 「令和7年度版会員名簿」(補充編)の発行

- ・名簿の発行…10月21日 支部代表者会にて配付
※会員数150名まで2冊, 151名以上は3冊配布

(2) 令和7年度準会員について

- ・小樽小16名・中12名 室蘭中1名 計29名
- ・準会員による「はまなす短信」へ寄稿は、小樽市校長会に依頼済み
……R8年4月15日『退職校長会便り』251号に掲載

(3) 組織拡充について

- ・支部代表者会で、2020(令和2)年3月末退職者(退職5年経過者)で未入会者の情報提供をし、支部での会員獲得に活用してもらう

*退職予定者への入会案内について

- ①11月上旬に令和8年春の役職定年予定者調査(市小、市中、国公立幼稚園長会・こども園長会、道小、道中、高等学校長協会、特別支援学校長会)に退職予定者名簿の提示依頼、11月中旬に受領予定

※令和7年3月役職定年者数 幼稚園1名、小学校142名(併置校含む)、中学校96名、高校49名(行政0名含む)、特支10名、義務1名
合計299名 入会者48名

- ②役職定年予定者名簿の点検・発送。(12月中旬)

- ・全支部・地区連絡員に来春役職定年予定者全員の名簿を送付。
※最終勤務校名簿(役職定年後の自宅の住所・電話番号は分からない)

- ③役職定年予定者への入会案内等(1月上旬発送)

- ・一括送付支部(函館、渡島、旭川、小樽、帯広)と個人宛へ送付(送付文書)予定
- ・北海道退職校長会への入会について(依頼)
- ・北海道退職校長会への入会のご案内(両面印刷)※裏面は支部一覧
- ・北海道退職校長会会則(両面印刷)
- ・退職校長会だより250号(12月発行号)
- ・返信用はがき(支部により両面白紙、表のみ白紙を提供)

2. 今後の予定

12/19(金) ・組織部会④ (R8年3月役職定年予定者名簿の各支部・地区連絡員へ発送)

1/13(火) ・組織部会⑤ (R7年度活動報告、令和8年度事業計画案検討、
令和8年3月役職定年予定者への入会案内文書等の袋詰め作
業・発送<5支部及び希望支部は支部へまとめて送付>)

2月上旬 役職定年予定者の入会可否状況集約期日

2/27(金) ・組織部会⑥ (役職定年予定者入会可否資料の作成と点検、支部・地区
連絡員へ送付。連絡員へ活動お礼及び次年度委嘱依頼)

3/13(金) ・第2回理事会(暫定新入会員数提示、各支部へ可否状況を報告)

令和7年度 組織部業務進捗状況

1. 報告事項

(1) 「令和7年度版会員名簿」(補充編)の発行

- ・名簿の発行…10月21日 支部代表者会にて配付
※各支部に1冊配付 さらに必要な場合は本部事務局まで連絡をお願いしたい

(2) 令和7年度準会員について

- ・小樽小16名・中12名 室蘭中1名 計29名
- ・準会員による「はまなす短信」への寄稿は、小樽市校長会に依頼済み
……R8年4月15日『退職校長会便り』251号に掲載予定

(3) 組織拡充について

- ・支部代表者会で、2020(令和2)年3月末退職者(退職5年経過者)で未入会者の情報提供をし、支部での会員獲得に活用していただく

*退職予定者への入会案内について

- ①11月上旬に令和8年春の役職定年予定者調査(市小、市中、国公立幼稚園長会・こども園長会、道小、道中、高等学校長協会、特別支援学校長会)に退職予定者名簿の提示依頼、11月中旬に受領予定

※令和7年3月役職定年者数 幼稚園1名、小学校142名(併置校含む)、中学校96名、高校49名(行政0名含む)、特支10名、義務1名
合計299名 入会者48名

- ②役職定年予定者名簿の点検・発送。(12月中旬)

- ・全支部・地区連絡員に来春役職定年予定者全員の名簿を送付。
※最終勤務校名簿(役職定年後の自宅の住所・電話番号は分からない)

- ③役職定年予定者への入会案内等(1月上旬発送)

- ・一括送付支部(函館、渡島、旭川、小樽、帯広)と個人宛へ送付(送付文書)予定
- ・北海道退職校長会への入会について(依頼)
- ・北海道退職校長会への入会のご案内(両面印刷)※裏面は支部一覧
- ・北海道退職校長会会則(両面印刷)
- ・退職校長会だより250号(12月発行号)
- ・返信用はがき(支部により両面白紙、表のみ白紙を提供)

2. 今後の予定

12/19(金)・組織部会④ (R8年3月役職定年予定者名簿の各支部・地区連絡員へ発送)

1/13(火)・組織部会⑤ (R7年度活動報告、令和8年度事業計画案検討、
令和8年3月役職定年予定者への入会案内文書等の袋詰め作
業・発送<5支部及び希望支部は支部へまとめて送付>)

2月上旬 役職定年予定者の入会可否状況集約期日

2/27(金)・組織部会⑥ (役職定年予定者入会可否資料の作成と点検、支部・地区
連絡員へ送付。連絡員へ活動お礼及び次年度委嘱依頼)

3/13(金)・第2回理事会(暫定新入会員数提示、各支部へ可否状況を報告)

令和7年度 広報部進捗状況

1 報告事項

(1) 会報第249号（令和7年8月29日発行）について

「総会報告」「はるにれ」「春の叙勲」「広場」等、全12ページで編集。

※今号より12ページ立てとなり、内容が精選された

※発送経費削減も考え、事務理事及び印刷会社と検討し紙質を可能な限り薄くした

(2) 会報250号について

7月25日（金）執筆者報告依頼発送

9月 5日（金）執筆依頼発送

10月20日（月）原稿締切り

11月13日（木）編集会議

12月10日（水）発行

「支部代表者会報告」「北海道教育の日」「はるにれ」「秋の叙勲」「広場」等、全12ページで編集。

2 今後の予定

会報251号 令和8年4月15日（水）発行予定

「総会資料」「はまなす短信」「広場」等。全12ページで編集。

3 その他

(1) 創立60周年記念誌発行についての業務

8月25日（月）に旧広報部メンバーで袋入れ実施

(2) 会報誌の編集作業の見直しについて

250号執筆者報告のeメール活用…1地区を除いて

執筆者報告段階で執筆者のeメールアドレスを確認する形にしていきたい

編集会議…249号は対面1・eメールやりとり1の2回で完成

2026（令和8）年度 広報誌発行計画

発行月	日程等	巻頭言	行事	各部関係	支部交流	はまなす評論	広 場	常掲記事
八月発行	252号	会 長	総 会 報 告		札 豊 平 支 部	【副会長】		「会の
				《情報部》		札幌①	札西	動き」
	発行日 R8.8.29			「はるにれ」		旭川	旭川	
				2p		函館	東十勝	「事務局
	執筆者報告					札幌②	千歳	日誌」
	依頼			「春の叙勲」		小樽	札北	
	4月上旬			0.5p		十勝	後志羊蹄	「お悔や
						…輪番で記名	札中央	み」
	原稿締切					執筆	檜山	
	6月下旬					“本会の課題 と提言”		「編集 後記」
計 12p	ページ数	1	R7 3p R8 2p	2.5	1	0.5	R7 3p R8 4p	1
十二月発行	253号	札 厚 別	支部代表者会		網 走 支 部	【副会長】	函館	「全連退
				《情報部》		札幌①		だより」
	発行日 R8.12.10			「はるにれ」		旭川	札手稲	「会の
				2p		函館		動き」
	執筆者報告			「秋の叙勲」		札幌②	網走	「事務局
	依頼			0.5p		小樽		日誌」
	7月下旬					十勝	根室	「お悔や
				《担当副会長》		…輪番で記名		み」
	原稿締切			「北海道教育 の日」		執筆	札厚別	「編集
	10月中旬			1p		“本会の課題 と提言”	札東	後記」
計 12p	ページ数	1	1.5	3.5	1	0.5	3	1.5
四月発行	254号	北 見	総 会 資 料		札 西 支 部	【副会長】	北広島	「全連退
				《組織部》		札幌①		だより」
	発行日 R9.4.15			「はまなす 短信」		旭川	江別	「会の
				0.5p		函館		動き」
	執筆者報告					札幌②	北後志	「事務局
	依頼					小樽		日誌」
	R8.11月下旬					十勝	札豊平	「お悔や
				《広報部》		…輪番で記名		み」
	原稿締切			連絡事項		執筆		「編集
	R9.2月下旬			0.5p		“本会の課題 と提言”		後記」
計 12p	ページ数	1	5	1	1	0.5	2	1.5

2027（令和9）年度 広報誌発行計画

発行月	日程等	巻頭言	行事	各部関係	支部交流	はまなす評論	広 場	常掲記事
八月発行	255号	会 長	総 会 報 告		岩 見 沢 支 部	【副会長】	美唄	「会の
				《情報部》		札幌①		動き」
	発行日 R9.8.29			「はるにれ」		旭川	渡島	
				2p		函館		「事務局
	執筆報告 依頼			「春の叙勲」		札幌②	帯広	日誌」
	4月上旬			0.5p		小樽		
						十勝	北見	「お悔や
						…輪番で記名		み」
	原稿締切 6月下旬					執筆	札白石	
						“本会の課題 と提言”	西十勝	「編集 後記」
計 12p	ページ数	1	R8 2p R9 3p	2.5	1	0.5	R8 3p R9 3p	1
十二月発行	256号	札 東	支部代表者会		美 唄 支 部	【副会長】	岩見沢	「全連退
				《情報部》		札幌①		だより」
	発行日 R9.12.10			「はるにれ」		旭川	室蘭	「会の
				2p		函館		動き」
	執筆報告 依頼			「秋の叙勲」		札幌②	小樽	「事務局
	7月下旬			0.5p		小樽		日誌」
						十勝	旭川	「お悔や
				《担当副会長》		…輪番で記名		み」
	原稿締切 10月中旬			「北海道教育 の日」		執筆	札北	「編集 後記」
				1p		“本会の課題 と提言”	札西	
計 12p	ページ数	1	1.5	3.5	1	0.5	3	1.5
四月発行	257号	岩 見 沢	総 会 資 料		帯 広 支 部	【副会長】	東十勝	「全連退
				《組織部》		札幌①		だより」
	発行日 R10.4.15			「はまなす 短信」		旭川	檜山	「会の
				0.5p		函館		動き」
	執筆報告 依頼					札幌②	千歳	「事務局
	R9.11月下旬					小樽		日誌」
				《広報部》		十勝	札中央	「お悔や
				連絡事項		…輪番で記名		み」
	原稿締切 R10.2月下旬			0.5p		執筆		「編集 後記」
						“本会の課題 と提言”		
計 12p	ページ数	1	5	1	1	0.5	2	1.5

令和 7 年度 情報部 業務進捗状況

<報告事項>

1 福祉シリーズ

- ・健康・医療・福祉にかかわる情報の提供
会報 248 号の「福祉シリーズ 148」をもって休載

2 米寿・上寿関係

- ・令和 8 年度の上寿・米寿者の調査及び全国連合退職校長会への報告
上寿者候補者 2 名 米寿候補者 64 名

3 叙勲受章者関係の調査と会報への掲載

- ・令和 6 年度の 春季・秋季叙勲受章者数の調査と全連退への報告 (9 月末)
- ・令和 7 年度「春の叙勲受章者」「高齢者叙勲受勲者」(令和 6 年 12 月～令和 7 年 4 月)の調査
- ・令和 7 年度「秋の叙勲受章者」「高齢者叙勲受章者」(令和 7 年 5 月～11 月分)の調査

4 はるにれ 教育に関する情報の提供

- ・教育の現状と課題、先進的な取り組みについての情報提供
- ・全道各支部や公的組織、民間団体の教育支援活動にかかわる情報提供
- ・「北海道教育の日」担当を通した取組状況等の把握と情報提供

5 北海道教育の日 「北海道教育の日」事務局への情報部員の派遣と当日の業務推進

<業務計画・進捗状況>

- 4 月 道教委に春の叙勲受章者・高齢者叙勲受章者にかかわる問い合わせ
「はるにれ」にかかわる情報提供、執筆者推薦書等配布

会報 249 号(令和 7 年 8 月発行)掲載の「はるにれ」原稿執筆依頼

- 5 月 令和 7 年度の上寿・米寿会員に寿詞・賀詞と記念品を贈呈(定期総会時)
令和 8 年度の上寿・米寿会員の調査

- 7 月 令和 8 年度の上寿・米寿会員について全国連合退職校長会に報告
「はるにれ」にかかわる情報提供、執筆者推薦書等配布

- 8 月 春の叙勲受章者・高齢者叙勲受章者を会報 249 号に掲載
「はるにれ」を会報 249 号に掲載

会報 250 号(令和 7 年 12 月発行)掲載の「はるにれ」原稿執筆依頼

執筆者 石井貴司 氏 札幌市立陵陽中学校校長

- 11 月 道教委に秋の叙勲受章者・高齢者叙勲受章者にかかわる問い合わせ
教職員課 高田さん

- 12 月 秋の叙勲受章者・高齢叙勲受章者を会報 250 号に掲載
「はるにれ」を会報 250 号に掲載

令和8年度 上寿対象者

2名

No	支部名		氏 名	No	支部名		氏 名
1	1	札幌中央	谷 村 正 敏	3			
2	35	網 走	水 野 眞 吉	4			

※水野眞吉さんは1年遅れての申請になっています。

令和8年度 米寿対象者

64名

No	支部名		氏 名	No	支部名		氏 名
1	1	札幌中央	風 間 正 男	28	20	後志羊蹄	吉 田 守 之
2	2	札幌東	深 澤 孜	29	21	函 館	中 山 昭 一
3	3	札幌西	畑 洋 太 郎	30	22	函 館	水 間 福 一
4	3	札幌西	小 柳 省 三	31	22	函 館	三上竹千代
5	4	札幌手稲	荒 井 勝 利	32	22	渡 島	井 上 光 雄
6	4	札幌手稲	大 木 戸 龍 雄	33	23	檜 山	麓 善 勝
7	6	札幌北	山 口 吉 昭	34	24	檜 山	川 口 護
8	6	札幌北	高 津 戸 信 義	35	24	檜 山	山 内 脩 介
9	6	札幌北	松 尾 和 弘	36	24	檜 山	板 垣 好 英
10	6	札幌北	黒 田 敏 明	37	24	室 蘭	大 澤 晃
11	7	札幌白石	木 保 國 雄	38	27	帯 広	末 広 襄
12	8	札幌厚別	中 西 映 喜	39	28	帯 広	松 崎 拓 郎
13	8	札幌厚別	松 田 弘 之	40	28	帯 広	笠 井 武 英
14	8	札幌厚別	川 合 利 明	41	28	帯 広	和 田 定 治
15	9	札幌豊平	二ツ山政治	42	30	東 十 勝	木 村 徳 弘
16	11	江 別	阿 部 文 明	43	31	西 十 勝	前 田 利 武
17	11	江 別	千 葉 垂 穂	44	33	根室地区	畑 中 稔
18	12	北 広 島	安 孫 子 章 平	45	34	北 見	宇 田 馨
19	12	北 広 島	山 田 勝 義	46	38	旭 川	虻 川 良 夫
20	12	北 広 島	山 岸 力	47	38	旭 川	伊 藤 繁 男
21	12	北 広 島	小 倉 浩	48	38	旭 川	河 合 正 人
22	15	小 樽	森 建 丸	49	38	旭 川	北 谷 俊 哲
23	19	小 樽	小 山 利 幸	50	38	旭 川	栗 林 清 治
24	19	小 樽	成 田 穰 一	51	38	旭 川	小 嶋 誠 子
25	19	小 樽	藤 田 哲 司	52	38	旭 川	古 屋 栄 隆
26	19	北 後 志	尾 崎 宣 文	53	38	旭 川	佐 藤 滋
27	20	北 後 志	菊 地 忠 敬	54	38	旭 川	佐 藤 正 和

55	38	旭 川	柴 田 拓	70			
56	38	旭 川	富 樫 護	71			
57	38	旭 川	日 塔 昇 一	72			
58	38	旭 川	野 崎 徹	73			
59	38	旭 川	平 間 文 夫	74			
60	38	旭 川	古 高 時 雄	75			
61	38	旭 川	山 上 マ リ 子	76			
62	38	旭 川	山 田 實 洋	77			
63	38	旭 川	米 川 功	78			
64	41	個 人	芳 川 政 雄	79			
65				80			
66				81			
67				82			
68				83			
69				84			

令和7年度「北海道教育の日」道民運動推進協議会業務進捗状況

1 諸会議

6月24日(火)に令和7年度総会が53名の参加をもって開催され、新年度の活動が承認された。

8月7日(木)に第3回事務局会、9月9日(火)に第4回事務局会、9月18日(木)に第2回幹事会を開催し、11月4日(火)の「北海道教育の日」第18回制定記念行事及び実践資料集第19集などについて協議した。

2 「北海道教育の日」第18回制定記念行事について

(1)開催日時・場所 令和7年11月4日(火)15:00～17:00

ホテルライフオーポート札幌

(2)テーマ

「あなたはだれかのために、何ができますか？」

～子どもたちに「共に歩もうとする力」を！～

(3)講演について

演 題 「夢と共に歩む」

講 師

池崎 大輔 氏 車いすラグビーパリパラリンピック金メダリスト

浅井 謙作 氏 北海道星置養護学校 校長

◇講演の趣旨◇

少子化が進み就学人数が減少する中、特別支援教育のニーズは年を追うごとに高まっています。特別支援学級や通級指導、特別支援学校などで個に応じた教育支援を受ける子供たちは、将来社会に出たときに自己実現を達成するための生きる力を育んでいます。また、スポーツや芸術等の世界では、個人の能力や技術を発揮し世界で活躍する姿が報道されています。パリパラリンピックでも多くのメダルを獲得するなど、道内出身の選手の活躍も含め、記憶に新しいところです。

これからの特別支援教育は、学びの継続性や学びの環境などがより充実し、更に子供たちが自らの可能性を最大限に発揮し、希望をもって、変化の激しい社会を生きぬく力を身に付けることにつながるものであるべきと考えます。

ハンデがあっても夢や希望をもち、それを支援する環境を整えるためには学校教育だけでなく企業、地域、行政などがそれぞれの資源を有効に活用し連携することが大切であると考えます。

講師の、車いすラグビー日本代表選手である池崎大輔氏からは、養護学校での経験や人との出会い、車いすラグビーかける思いや後輩の育成などご自身の体験から得てきたものを、また、北海道星置養護学校校長浅井謙作氏には、池崎氏との関わりから学びの継続性や支援の在り方など、興味深い講話を伺えることが期待されます。

(4)参加形態・申込方法

- ・会場参加対象：構成団体、協賛団体
- ・講話は、北海道教育委員会公式ホームページより YouTube で配信する。
- ・申込方法：団体より「北海道教育の日」kyouikunohi25@gmail.com あてに申し込む。
- ・申込締切 10 月 10 日(金)

(5)リーフレットについて

- ・発行部数：1500
- ・発送：9月9日
- ・配布先：構成団体、協賛団体、全道市町村教委、全道の公立幼・小・中学校、道立高校・特別支援学校、各教育局、札幌市立幼・保・小・中・高・特別支援学校、北海道退職校長会各支部・連絡員、公共施設等
- ・配布方法：宅配、庁内メール、PDF 送付

3 「北海道教育の日」実践資料集19集について

- ・令和7年度の「北海道教育の日」協賛事業等を中心に原稿依頼
- ・制定記念行事の講演内容を掲載する
- ・ページ数は前年度より数ページ減。300 部発行。発送は2月上旬予定
- ・発送先・配布方法は制定記念行事のリーフレットとほぼ同じ

※「北海道教育の日」制定記念行事等に関する問い合わせ先

電話 090-6871-7820 Eメール yasuek1961@gmail.com (川島康恵)

令和7年度 北海道退職校長会 「道東 北見・網走地区地域懇談会」報告

北見支部事務局長 菊野淳一

1. 日 時 令和7年9月20日(土) 14:00～19:00
2. 会 場 北見市立中央図書館、北網圏北見文化センター、オホーツクピアファクトリー
3. 主管支部 北海道退職校長会北見支部
4. 参加者 13名(本部2名、網走支部2名、北見支部9名)
5. 日 程
 - (1) 受付 13:50～ 北見市立中央図書館ロビー
 - (2) 見 学 14:00～14:20 図書館内
 - (3) 開会式 14:30～14:40 北網圏北見文化センター講座室
 - ①主催者挨拶 北海道退職校長会 会長 佐藤晴樹
 - ②主管支部挨拶 北 見 支 部 支部長 幸谷勝一
 - (4) 地域懇談会 14:40～15:50 進行:北見支部事務局次長 片桐 聡
 - ①全連退について 北海道退職校長会 会長 佐藤晴樹
 - ・7/31 副会長会～全国8地区で会員数の減少がある中、現職校長会(準会員)と繋がって100%加入の県もある。退会後も独自の活動続ける山口県の例もある。
 - ・8/1 文部科学省への要望書提出～担当審議官との懇談は予定時間を大幅に超過。異例。
 - ②本部の業務推進状況等について 北海道退職校長会 副理事長 大向明宏
 - ・様々な経費削減の努力で、「60周年記念事業」と「記念誌発行」を行うことができた。
 - ・会務検討委員会で、持続可能な予算編成のために大胆な見直しを検討中。
 - *支部活動推進費一人当たり600円は今後も何とか確保して、会費値上げを回避したい。
 - *役員会・支部代表者会を廃止し、地域懇談会を年2～3回開催して支部と本部の情報交流を深める。
 - *現行2回の理事会のうち、1回は書面開催にして効率化を図る。
 - *年3回に減らした広報も、より少ない経費で内容を維持していく。
 - ③網走支部の活動状況等について 網走支部事務局長 芦崎範敏
 - ・かつて40名超だった会員数は現在19名。会員の高齢化が進む中、新加入者は少なく、役員も担い手不足により2名体制が続いている。毎年、数名が退会している。
 - ・再就職しても、勤務終了後に網走支部の範囲の市町に定住する人が少ないことも要因。
 - ・定期総会で意見を交流して、支部継続に関わる会員アンケートを実施した。今年中に結果をとりまとめ、支部閉鎖か継続可能なのか、今後の支部の在り方を決めていきたい。
 - ④北見支部の活動状況等について 北見支部事務局長 菊野淳一
 - ・会員数は160名(北見市151、訓子府町1、置戸町1、美幌町6、大空町1)。他にない特徴として北見市・訓子府町・置戸町在住の退職教職員組織「北親会(ほくしんかい)」がある。両方に重複して加入している会員が多い。
 - ・支部主催の年2回のパークゴルフ大会の他、北親会と連携して囲碁・将棋大会や懇親会に参加して、会員の交流・親睦を深めている。
 - ・現職校長会の役員との懇談の他に、管内校長会研究大会に4分科会の助言者4名を派遣し

て、連携を図っている。

- ・役職定年校長の加入促進については、再任用など動向が多様になり、すぐの加入が少なくなってきた。

⑤意見交流

- ・会費が値上がりすると退会する人が増えてくる。支部活動推進費を含め、自分（たち）に還ってくるメリットを感じさせる取組がより大切になってくるのではないか。
- ・全国の県支部等でも、本部のような会務見直しが必要ではないか。
- ・現職校長会のメンバーに機会あるごとに会って交流し、アドバイスしていくなど、バックアップしていくことが、加入と継続につながるのではないか。

(5) 閉会式 15:50～16:00

①主催者挨拶 北海道退職校長会 副理事長 大向明宏

②連絡事項 北見支部 事務局長 菊野淳一

(6) 懇親会 17:30～19:00 オホーツクビアファクトリー

①開会の言葉・乾杯 網走支部支部長 加藤一大

②懇親・歓談

③閉会の言葉・乾杯 北見支部副支部長 浪岡康二

〈 地域懇談会の様子 〉

懇談会 佐藤会長ご挨拶



主管北見支部 幸谷会長挨拶



懇親会



令和7年度 支部代表者会 出席者名簿

	支部名	役職名	氏名		支部名	役職名	氏名
1	本部	会 長	佐藤 晴樹	19	札幌中央	支部長	松本 剛
2	本部	副 会 長	平岡 弘之	20	札幌東	副支部長	佐藤 博明
3	本部	副 会 長	木村 範子	21	札幌西	支部長	坪井 一男
4	本部	副 会 長	阿部 憲司	22	札幌手稲	支部長	高橋 謙一郎
5	本部	副 会 長	福家 尚	23	札幌北	事務運営局長	山崎 雅夫
6	本部	副 会 長	加賀 政治	24	札幌白石	支部長	遠藤 紘之助
7	本部	副 会 長	九嶋 哲雄	25	札幌厚別	支部長	土屋 隆
8	本部	理 事 長	鈴木 宏宣	26	札幌豊平	支部長	土佐林 仁
9	本部	副理事長	大向 明宏	27	江 別	事務局長	厚海 嘉孝
10	本部	副理事長	川島 康恵	28	千 歳	幹事長	山内 雅彦
11	本部	事務理事	羽川 希世志	29	岩見沢	幹事長	早瀬 公平
12	本部	組織部長	栗原 靖	30	小 樽	事務局長	岡田 雅彦
13	本部	理 事	神谷 敦	31	後志羊蹄	事務局長	平野 雄二
14	本部	広報部長	岩田 敦	32	函 館	理事長	八木 裕
15	本部	理 事	伊藤 春美	33	渡 島	事務局長	川野 真一
16	本部	理 事	北原 徹也	34	檜 山	理事長	田中 正邦
17	本部	情報部長	駒形 武志	35	帯 広	理事長	干場 敦子
18	本部	理 事	小倉 悦子	36	東十勝	理事長	高橋 康伸
				37	西十勝	理事長	岩野 真志
				38	根室地区	会 長	青山 英則
				39	北 見	事務局長	菊野 淳一
				40	網 走	事務局長	芦崎 範敏
				41	旭 川	理事長	伊東 義晃

本部役員 18 名

支部役員 23 名

合計 41 名

[illegible]